

美豆小

# 学びの道しるべ

平成31年2月6日

京都市立美豆小学校

校長 高嶋 登

9号

## ノート検定を実施します

今年度も残すところ2ヶ月です。それぞれの学年や学級では、その学年のまとめの時期に入りました。子ども達と「できるようになったこと」を確認しつつ、新しく見えてきた目標の達成に向けて、それぞれの学年や学級がさらに高まりを見せてています。

美豆小学校では、「家に帰って読み返すノートづくり」を目指しています。国語や算数、理科や社会のノートを持ち帰ったお子達は家で宿題や自主学習をする際にノートを見直しているでしょうか。考えのヒントとなるノート作りができているのか、検定項目を学年で統一して教職員がノートを点検しています。

ノート検定を行うことで、子ども達は定規を使ってノートを書いたり、マスや行を意識したりしてノートを書くようになり、よりよいノートづくりへの意欲につながっています。また、ノート検定で設けた基準を全ての児童が達成することを目標に教職員も授業の板書作りや子ども達のノート点検を丁寧に行っています。

ノート検定は2月中旬に実施予定です。お子達に励ましのお声掛けをお願い致します。

### <検定項目>

- ①日付が書かれている
- ②「めあて」と「まとめ」が書かれている
- ③自分の考えが書かれている
- ④よいと思った友だちの考えが書かれている。
- ⑤ふり返りが書かれている。

## めざせ100冊マラソン

京都市立小学校の児童は全員が「読書ノート」を持っています。このノートには自分が読んだ本のタイトルや感想を記録し、読書の足跡を残していくというものです。1年生から4年生までは、年間100冊の本を読むことを目標に、学校での時間や家庭での時間で本を手に取り、物語の世界を楽しんでいます。高学年以上になると一冊の文字数やページ数が多くなるので、4年生までの児童とは少し異なって、合計で1万ページ以上を読むと目標を設定しています。

読書することは大切であると言いますが、なぜ大切なのでしょうか。それは、言葉の獲得や読解力の獲得に通じるものがあるからだと言われています。短いお話から長いお話まで様々な本がありますが、まずは「読んでみたい!」と思う物を手に取って、少しずつ読み始めることから始めるで、読むことを楽しむようになってきます。中学年以下の100冊以上や高学年の1万ページ以上の目標に向けて、まずは図書室に行って本を借りることからスタートしましょう!

